

《平成 27 年厚生労働省告示第 94 号第 31 号のイ》が示す状態像

対象外種目	厚生労働大臣が定める告示に 該当する対象者	対象者に該当する基本調査の結果
ア 車椅子及び 車椅子付属品	次の <u>いずれか</u> に該当する者	
	(一) 日常的に歩行が困難な者	■基本調査 1－7 (歩行)「3. できない」
	(二) 日常生活範囲において移動の支援が 特に必要と認められる者	■基本調査に該当項目なし 欄外「※」参照
イ 特殊寝台及び 特殊寝台付属品	次の <u>いずれか</u> に該当する者	
	(一) 日常的に起きあがり困難な者	■基本調査 1－4 (起き上がり)「3. できない」
	(二) 日常的に寝返りが困難な者	■基本調査 1－3 (寝返り)「3. できない」
ウ 床ずれ防止用具及 び体位変換器	日常的に寝返りが困難な者	■基本調査 1－3 (寝返り)「3. できない」
エ 認知症老人徘徊感 知機器	次の <u>いずれにも</u> 該当する者	
	(一) 意見の伝達、介護を行う者への反応、 記憶又は理解に支障がある者	次のいずれかに該当 ■基本調査 3－1 (意思の伝達)「1. 調査対象 者が意見を他者に伝達できる」以外 ■基本調査 3－2 (毎日の日課を理解)～3－ 7 (場所の理解)のいずれか「2. できない」 ■基本調査 3－8 (徘徊)～4－15(話がまとま らない)のいずれか「1. ない」以外 ■主治医意見書において、認知症の症状がある 旨が記載されている
	(二) 移動において、全介助を必要としない 者	■基本調査 2－2 (移動)「4. 全介助」以外
オ 移動用リフト(つり 具の部分を除く。) ●昇降座椅子など ●固定式・入浴用リ フトなど ●段差解消機など	次の <u>いずれか</u> に該当する者	
	(一) 日常的に立ち上がりが困難な者	■基本調査 1－8 (立ち上がり)「3. できない」
	(二) 移乗において一部介助又は全介助を 必要とする者	■基本調査 2－1 (移乗)「3. 一部介助」又は 「4. 全介助」
	(三) 生活環境において段差の解消が必要 と認められる者	■基本調査該当項目なし 欄外「※」参照
カ 自動排泄処理 装置	次の <u>いずれにも</u> 該当する者	
	(一) 排便において全介助を必要とする者	■基本調査 2－6 (排便)「4. 全介助」
	(二) 移乗において全介助を必要とする者	■基本調査 2－1 (移乗)「4. 全介助」

※基本調査に該当項目がないため、主治医の意見を踏まえつつサービス担当者会議等を開催する等の適切なケアマネジメントを通じて、指定居宅介護（介護予防）事業者が判断する。